

認知症作業療法 活動報告（概要）

栃木県作業療法士会では、「地域リハビリテーション推進部・認知症ケア対策推進部門」として主に「研修事業」を中心に活動している。これまでの認知症アップデート研修の他、今年度は啓発事業としての「**RUN伴**」への後援、運営面での参加や、県内の認知症支援に携わる**OT**の現状把握としてアンケート調査を実施している。活動の主な目的は人材育成であるが、認知症の人と家族の会や行政も含めた他機関との連携等も視野に入れて活動していく必要がある。

研修事業

H28年度から認知症アップデート研修を開催。
年**2**回ペースで実施し、現在までに**3**回実施している。
H30年度**1**回目を**H30.10**月実施予定。
これまで実施**3**回で計**113**名の参加を得た。
修了証は**110**名に発行している。



認知症啓発事業

RUN伴2018に県士会として後援。
県内**14**エリア中**2**エリアで県士会員がエリア長・副エリア長として運営に参加。



調査事業

認知症支援に関するアンケートを士会員所属事業所**90**施設（会員**547**名）に実施。回収率**56**%。

認知症初期集中支援チームに携わっているのは1事業所、など地域で認知症支援に携わる**OT**が少ない現状。また、認知症支援の必要性は感じているが、職場環境の問題や支援内容が分からないなど、現場でもどかしさを感じている状況が窺えた。認知症支援をしている**OT**間の横のつながりも必要との意見も見られた。

今後の展開

- ・人材育成のための認知症アップデート研修会の継続、応用研修等の実施。（研修内容の検討、参加率を上げるための工夫検討が必要）
- ・アンケート調査から見えた県内の課題に対する対策検討。
- ・「認知症の人と家族の会」との県士会としてのコンタクト、連携を図る。